

新たなステージに向けて（22-1）

～16人の再就職活動～

40代・50代・60代



<目次>

【40代】

- 事例1 キャリアチェンジ
社会保険労務士補助 女性 41歳
- 事例2 自分と向き合うことの大切さ
医療事務 女性 44歳
- 事例3 自分に合った働き方の探し方
事務職 女性 45歳
- 事例4 自分探し ～経験の活かし方～
事務職 女性 47歳
- 事例5 働き方は生き方
マネジメント 女性 49歳

【50代】

- 事例6 日々の積み重ね
公務 男性 50歳
- 事例7 背中を押していただき、就職と移住が決定
陶器製造 女性 51歳
- 事例8 人生七転び八起き、人生甲斐探し
設備員 男性 57歳
- 事例9 効率的な活動は「職種を絞り複数応募」
福祉職 女性 58歳

【60代】

事例 10 新たなステージに向けての学びと感謝

ジョブコーチ 女性 60歳

事例 11 一人で悩まず相談してみたら…

事務職 女性 61歳

事例 12 初志貫徹

事務補助（公務） 男性 63歳

事例 13 未経験の業種にチャレンジ

学校用務員サポート職 女性 65歳

事例 14 新たな仕事への挑戦

障がい教育推進支援員 女性 65歳

事例 15 定年からの再チャレンジ

介護職 男性 66歳

事例 16 新しい職種に挑戦

ホールスタッフ 女性 68歳

事例1 キャリアチェンジ

社会保険労務士補助 女性 41歳

私が見つけた働き方

○来所時の状況

販売職に長らく従事していましたが、働く人を制度活用の面から応援したく、かつ、長期就労が可能である専門職に就きたいと思い、異業種への転職を目指し、ファイナンシャルプランナー3級を取得し、その後、2級の受験勉強をしながら転職活動をしていました。

しかし、書類選考から先に進むことができなかつたため、インターネットで知ったジョブスタを訪問しました。

10社以上書類選考で落ち、やはり40代での異業種への転職は難しいと感じていました。

○成功の転機となったこと

書類選考が全く通らなかつたので、応募書類を持参して総合相談に臨みました。そこで、カウンセラーの方と一緒に応募書類を点検、色々アドバイスをいただいて修正した結果、面接に進めるようになりました。担当のカウンセラーの方に励ましてもらいながら、アドバイスをいただいたことで、客観的に自分を見つめなおすことができたことがよかつたと思います。

○現状と今後

社会保険労務士事務所への転職が決まりました。今後は働きながら勉強し、社会保険労務士の資格の取得を目指したいと考えています。

○ジョブスタを利用しての感想

一人で悩んでいるよりも、誰かにアドバイスをいただいたり、意見を聞くことで、前に進めるようになると思います。

もっと、早く相談に来ればよかつたと後悔しています。転職活動が長引くと、自分自身を見失ってしまうので、行動するのみだと感じました。

事例2 自分と向き合うことの大切さ

医療事務 女性 44歳

私が見つけた働き方

○来所時の状況

前職を体調不良で退職し、久しぶりの転職活動でしたので、一人での活動は不安でした。前の職業が自分に合っていたのかという迷いもあり、もしかしたらもっと自分に向いている仕事があるのではないかと、ジョブスタで相談させていただきたいと思いました。

○成功の転機となったこと

キャリアカウンセリングでは、担当カウンセラーと今までの職務経歴や希望職種について相談したりしました。適性診断を勧められ、「ボランティア、サポート力」が高いことがわかり、前職は自分の適性を生かせることができているのだと実感でき、自信につながりました。

事務職希望でしたので、パソコンスキルを学ぶことのできる職業訓練校を勧められました。訓練校に通うことはできませんでしたが、他のパソコン教室で習得することができました。

「成功の転機」は、ジョブスタに通い、担当カウンセラーとじっくり相談でき、視野が広がり、今後の方向性を一緒に探していただけたことです。

そして、行動を起こすことが新たな出会いやきっかけとなり、チャンスにつながるのだと思いました。

○現状と今後

現在は、医療事務として日々頑張っています。今後は業務に活かせる資格を積極的に取得しスキルアップを図って貢献していきたいと思っています。

○ジョブスタを利用した感想、反省点、利用者へのエール等

担当カウンセラーに親身になって支えていただいたことがとても心強かったです。一人では前に進めなかった私に対し、自信を持って取り組むことの大切さを教えていただき感謝しています。また、受付の方にも毎回優しく声をかけていただいたこともうれしく、励みになりました。

反省点としては、積極的に求人に応募できていなかったのもう少し活動的に動いていれば早期に就職できたのではと思っています。

就職活動されている方は、ジョブスタに通い、活動していけば自分が目指す仕事に就職できると思います。頑張ってください。

いままで本当にありがとうございました。

事例3 自分に合った働き方の探し方

事務職 女性 45歳

私が見つけた働き方

○来所時の状況

前職（パート・一般事務）を辞めて夫の海外転勤帯同で3年、帰国後はコロナ禍で外出を控える状況が続き、子どもの受験も重なったため、無職の期間が5年となりました。

このブランクに強く不安を感じるようになり、早く社会復帰したいとの思いからハローワークに行きましたが、方向性が定まっていなかったところ、「シニア・ジョブスタイル・かながわ」を紹介されました。

○成功の転機となったこと

早い職場復帰を目指したかったのですが、まずは無理なく働けることを前提としていたので、週2～3日の勤務、かつ、交通至便のところを希望していました。

しかし、条件を狭めすぎると、応募先も狭まり、さらに、内定獲得が遅くなることに気づきました。

そこで、考え方を変えて、とりあえず条件にこだわりすぎず仕事を探してみようと思い、週5日勤務のところも応募することに決めました。

その結果、2社から内定をいただき、さらに、自分の希望していた条件に近いところで就業を決めることができました。ポジティブ思考で臨んだことが早期決定につながったと思います。

○現状と今後

週2回のパートという働き方ですが、今の自分の生活スタイルに合っているので、しばらくは頑張ってみるつもりです。

○ジョブスタを利用しての感想、反省点、利用者へのエール等

担当のカウンセラーの方がとても親身になって、一緒に志望動機などを考えてくださり、アドバイスもたくさんいただきました。本当に頼りになりました。ジョブスタのカウンセラーさんに一度相談してみると本当に良いと思います！

事例4 自分探し ～経験の活かし方～

事務職 女性 47歳

私が見つけた働き方

○来所時の状況

希望とは違う職種で正社員として働いていました。初めての歩合・成功報酬型の月収だったので、一人暮らしの私には生活が不安定で将来も心配。とにかく今の仕事から抜け出したいという気持ちでいっぱいでした。

ジョブスタに出会うまで、1年かかりました。それまでは、仕事の合間に立ち寄ることのできるハローワーク数か所に通い、相談員にアドバイスもいただきながら活動していました。そして、たまたま横浜駅東口で開催されていたイベントでSTビルにハローワークがあることを知り、その相談員の方が「同じ建物内だからジョブスタも寄ってみたらいいのでは」と教えてくださったのがきっかけで訪問しました。

○成功の転機となったこと、

些細なことでも話を聞いてくださる担当カウンセラーがいる心強さ。

私の話を聞きながらも、分析してくださっていたのだと思います。面談の練習に何度も付き合ってください、そのたびに答え方がうまくなるよう、私の経験を生かす表現をアドバイスしてくださいました。

面接に慣れが必要とわかり、自分でも文章にまとめては書き直し、対策をするようになったことが成功へつながったことは間違いありません。そのことに気づかせてくださった担当カウンセラーにとっても感謝しています。

○現状と今後、反省点

希望の勤務地とは異なり、通勤時間が少し長くなりましたが、それでも1時間以内。採用してくださったことに感謝し、一日でも早く仕事に慣れ、自分の時間にもゆとりを持てる生活を取り戻していきます。

そして、「困ったことがあったら相談しに来てください」と言ってくださる担当カウンセラーがいる心強さは変わらずなので、安心して、長く勤務し続けようと心に決めています。新しい生活、楽しみです。

○ジョブスタを利用した感想、反省点、利用者へのエール等

相性もあるかもしれませんが、私にとってはとても頼りになる担当カウンセラーとの出会いを与えてくださったジョブスタに感謝しかありません。

受付の方々も併設のハローワークの方も親切です。もっと早くジョブスタを知ることができたらと反省します。

ジョブスタに出会えたあなたはもう大丈夫です!!! あきらめず、自分と向き合う時間を大切にしてください。自分を知ることが成功への近道。

担当のカウンセラーの方、ジョブスタの皆さま、ありがとうございました!!! (^・^)

私が見つけた働き方

○来所時の状況

在職中でしたが離職率の高い職場で、企業文化に戸惑いがありました。そこで、自分に合った仕事を探していたところ、応募したい求人を見つけました。

締め切り間近であったことから、キャリアカウンセラーの方に意見を伺いたいと思い、伴走型のシニア・ジョブスタイル・かながわのキャリアカウンセリングの予約を取りました。

○成功の転機となったこと

初回は、「自己紹介」、「現状」、「応募したい求人」の3つのテーマで面談していただき、今後のスケジュール感を確認しました。

フルタイムで働きながらの応募は、限られた時間の中での進捗管理が一番のカギになると感じました。

具体的には、仕事外のフリータイムに、ジョブスタの予約・連絡やカウンセリング、応募書類の作成や下見を含めた応募作業、さらに、応募先の企業とのやり取り等の時間を組み込むとともに、面接当日のパフォーマンスを上げるために疲労をためないよう意識するという、まさに一大プロジェクトでした。

そのような時、キャリアカウンセラーの方や、ジョブスタのスタッフの皆さまとの連携は、大変心強かったです。

○現状と今後

現在は、心身を労わりながら、健康診断を受診したり現職の荷物や書類の整理、次の職場で求められる知識の習得に向けた事前学習を行っています。

また、サービスやライフスタイルが変わりますので、必要品の購入や断捨離をしています。リフレッシュのために、旧友と再会したり、趣味の時間も取っています。

今後は、仕事柄、特に休日の取り方が大きく変わりますので、ペースをつかむまで時間がかかるかと思いますが、長い道のりになりますので、徐々に、着実にステップを登っていこうと思っています。

○ジョブスタを利用した感想、反省点、利用者へのエール等

働きながらの転職活動は日常プラスαの重大ミッションとなります。また、内定をいただいた喜び、達成感もつかの間、現職の退職交渉という次の山の大変さを想像したときはキツかったです。

社内での立場も、心理的に大きく変わってしまいましたが、カウンセラーの方に支えていただきながら乗り切ることができました。状況に応じて、カウンセラーの方やスタッフの方に柔軟にご対応いただき、感謝申し上げます。

利用者の皆さまにおかれましては、「自分がどう働きたいか、生きたいか」を掘り下げ、専門機関＝ジョブスタに支えていただきながら自分らしいライフワークバランスを模索してください！

私が見つけた働き方

○来所時の状況

コロナ禍により、勤務先の会社が無期休業に追い込まれ、予期せぬ失業となった時に、初めてジョブスタを訪問しました。

その後、派遣会社を2社勤務した後、資格を取得し、就職活動を再開するタイミングで、再度ジョブスタを訪問しました。

○成功の転機となったこと

成功の転機は、次にあげることの積み重ねだと思います。

- 1 就職活動ノートを作る：面接の振り返りや感じたこと等を記入することによって、自己分析や会社研究の深掘りができる。
- 2 定期的にジョブスタを利用する：その都度、悩みごとは変化していくが、カウンセラーが状況に応じたアドバイスをしてくださるので、モチベーションを保つことができる。
- 3 面接前にジョブスタを利用する：なぜこの会社に入りたいのか、そして、何をしたいのかが明確になり、面接時に不安を和らげることができた。

私は、最終的にはこの3つのことを行い、心の底から応募先に入りたいという気持ちで面接に臨めたので、内定をいただけたのだと実感しました。

○現状と今後

再就職先の担当業務は、新規事業案件のため、職場の環境整備から始まり、今後の進め方を模索している最中です。先輩職員の方などと協力しながら、新規事業がうまく回るようにしていくことが、今後の目標です。

○ジョブスタを利用した感想、反省点、利用者へのエール等

一人だけで就職活動を行っていると、どうしてもネガティブな感情が沸いてきます。カウンセリングによって、私自身気がつかない点を教えていただけます。

就職活動や今後の人生で悩んでいるみなさん、ささやかなことでも相談してみると、気持ちが落ち着いてきますよ。ひとりで悩みを抱え込まないでくださいね。

そして、ジョブスタのカウンセラーの方、スタッフの方、みなさんのおかげで再就職することができました。ありがとうございました。

事例7 背中を押していただき、就職と移住が決定

陶器製造 女性 51歳

私が見つけた働き方

○来所時の状況

昨年、ジョブスタセミナー「効果的な応募書類の作成」を受講しました。有意義なセミナーで、講師の方にも好感が持てたので、ジョブスタで相談すれば何とかかなると思い、来所しました。

それまで20年間、遺跡発掘作業をしていましたが、その仕事は継続性がなく、安定していませんでした。

安定した仕事を探したいという思いとともに、発掘の仕事を通じて陶器製造に興味を持ち、陶器製作の仕事をしてみたいと思いました。

どうしたらその仕事に就くことができるのか、探すことができるのか。関東圏では求人も少なく、就職できる可能性は低いようだ。それなら、独身だし、いつそのこと移住も視野に入れてもいいのでは、と考え、東京にあるI J Uターンに関する相談窓口を訪問したのですが、真剣に対応していただかず、残念な思いをしたこともありました。

○成功の転機となったこと

カウンセラーから、積極的に活動することが大切だといわれ、ハローワークインターネットサービスで検索して長崎県の陶器製造会社の求人を見つけた時には、まずは電話してみたらと、説得されました。いきなり電話することに抵抗はありましたが、失うものはないのだから、ダメもとで連絡しようと決心しました。

電話をかけ、事情を話したところ、面接が決まりました。どうなるのかわかりませんが、将来、後悔しないためにも面接に臨むことにしました。担当カウンセラーに応募書類の添削をしていただき、ハローワークから紹介状ももらいました。その後、初めてインターネットで飛行機やホテルの宿泊手続きを行いました。

○現状と今後

面接後、会社の勧めで、1週間の職場体験も経験しました。会社の方たちも、良い方ばかりで、就職することにしました。

○ジョブスタを利用しての感想、反省点、利用者へのエール等

背中を押していただき、感謝しています。ジョブスタに来なければこのような結果は出ませんでした。

事例8 人生七転び八起き、人生甲斐探し

設備員 男性 57歳

私が見つけた働き方

○来所時の状況

ハローワークの雇用保険を受給しながら、就職するためには自身のメンテナンスが必要と考え、相談させていただこうと思いました。

年齢は、57歳。履歴書、職務経歴書、添え状を携えて訪問しました。

応募書類の書き方や、就職できる可能性のある職種へのこだわり、選び方が間違っていないのか等のアドバイスをいただくためでした。

○成功の転機となったこと

雇用保険が切れてしまったため、必死になって自分の理念・理想と同じ会社の求人票を探し、応募しました。

総合相談では、キャリアカウンセラーに応募書類には書ききれない「自分自身の心」を正直に話し、自身について理解いただいたうえでアドバイスをいただくことができました。

また、応募にあたっての志望動機を明確にするアドバイスをいただくため、他の方たちよりも倍のペースで相談し、努力を惜しまず、活動を続けました。

そのような生活は、大変キツイ状況ではありましたが、カウンセリングで相談することで、「就職」という目標に向かい、希望をもって活動することができました。

○現状と今後、反省点

就職が決まっても、現場では色々、困難に遭遇することもあります。自分の能力以上の成果を求められたときには、チャレンジし、自分に自信をつけていきたいと思います。

そして、定年後を見据え、過去の経験を生かし、同じ会社で長く仕事を続けるために努力し頑張るという姿勢を忘れないようにします。

○ジョブスタを利用した感想、反省点、利用者へのエール等

納得できる、我慢できる職場環境を自ら見つけることで反省点を少なくすることができると思います。

そして、生き甲斐だと思える職場を自ら築いていくこと、苦しいときに助けてくださった人を忘れないことが大事だと思いました。

それを教えてくださったのが「シニア・ジョブスタイル・かながわ」のカウンセラーをはじめ、スタッフの方々でした。

人生は「縁」です。ありがとうございました。

事例9 効果的な活動は「職種を絞り複数応募」

福祉職 女性 58歳

私が見つけた働き方

○来所時の状況

雇用契約が満了になる半年前ぐらいから就職活動を開始しましたが、再就職先が決まらないうちに契約満了となり、気持ちも焦っていました。雇用保険受給期間中に決まらなかったらどうしよう、どのように活動したらいいのかなど色々考えると、のんびりとしてはいられず、不安な気持ちでいっぱいでした。

雇用保険の手続きに行った際、「ジョブスタ」では担当カウンセラー制で就活をサポートしてくれるということを知り、自分にはメンターになってくれる方が必要だと思い、利用することにしました。

○成功の転機となったこと

カウンセリングの初回に、本命は経験と資格を生かした福祉職ですが、障がい者雇用での事務職や有期雇用も視野に入れていることお伝えしました。

担当カウンセラーから一般企業はハードルが高いこと、会計年度の公務という選択肢もあること等を説明いただき、公務をメインに活動することにしました。

一人で活動していた時は、「公務」には作文があったりと自分にとってハードルが高いと思われていたため、応募先としてはまったく考えていませんでした。

第一希望は福祉職でしたが、結果が出るのが一番遅く、もしダメだった場合に備え、第二希望の公務の会計年度任用職員の仕事にも応募したところ、4月から採用との内定をいただきました。

内定をいただいたことは非常にうれしかったのですが、第一希望の結果が出るまでは安心できず、その後も自宅近くの求人情報を探して応募するなど、自分の考えがまとまらず、どうしたらよいか悩んでいました。そのような時、カウンセラーと話をすると、気持ちや考えをまとめることができました。

最終的に、第一希望であった福祉職の内定もいただきましたが、採用は半年先でした。

そこで、先に内定をいただいたところに相談したところ、第一希望の採用まで、働かせていただけることになりました。

一つ応募しては結果を待って次に応募する、というやり方では、チャンスを逃してしまうと思い、同時に複数応募しましたが、私の場合、3件を超えてしまうと色々大変でした。

また、やりたいこと、目指していることは明確でしたが、選択肢を多く持ちすぎたこと、就職の条件や優先順位があいまいであったことが、内定後、混乱してしまった原因になったと思います。

○現状と今後

今後、未経験分野での新しい仕事にチャレンジします。やりたいことに近づけたので、次の目標に向けて、これからも自分自身の向上を目指します。

○ジョブスタを利用しての感想、反省点、利用者へのエール等

担当カウンセラーの方は、いつも丁寧な話を聞いてくださるので、焦らず落ち着いて活動することができました。

応募書類の志望動機や作文など、その都度、アドバイスをいただき、相手に伝えたいことを整理してま

とめることができたので、提出書類に自信を持つことができました。

また、電話でもサポートしていただけたので、心強かったです。気持ちに余裕を持つことができました。

活動を見守ってくださり、安心と自信を持つことができたことで、納得できる良い結果になったと思います。ありがとうございました。

事例 10 新たなステージに向けての学びと感謝

ジョブコーチ 女性 60歳

私が見つけた働き方

○来所時の状況

前職の退職理由は、介護によるものでした。

昨今、私的な事情に対する労働環境が改善されつつあるとはいっても、介護に関して協力者がいない私にとって、仕事と両立させるには精神的・体力的に厳しい状況でした。

それでも、今後、自立した生活を送るためには、将来的に仕事に生かすことのできる資格が必要と考え、介護の傍ら人材支援関係の資格を取得しました。取得した後も、さらに働きながら関連する上位の資格を取得し、キャリアアップを図ることも視野に入れました。

その後、取得した資格を就職にどのように生かしたら良いか、今後の働き方を含めて相談するため、キャリアカウンセリングを受けてみよう、横浜のSTビルに飛び込み、ジョブスタを訪問したのでした。

○成功の転機となったこと

①数年ぶりの就活で、書類の様式、提出の方法から面接に至るまで、以前とはすっかり様変わりしていたため、カウンセリングで基本的なことからご指導いただき、新たな気持ちで一から取り組みました。

②3つのアイデンティティ

- ・朝起きた時に、一日のタイムスケジュールを組み立てる。これは、料理の手順と同じです。もちろん、予想外のことも起きますが、そこは、慌てず、臨機応変に対応することにしました。

- ・100歳近い女性画家の言葉「いくつになっても新たな発見がある」

- ・私が困難にあったときに思い出す言葉「とらわれることなく、目標をもって臨むこと」

①と②、さらにどのような時でも「楽しむこと」を忘れずに就職活動を続けたこと、プラス「ご縁」が結果に結びついたのでと思います。

私を常に支えてくださったジョブスタと出会えたことが成功の転機となりました。

○現状と課題

数年ぶりに社会に「復帰」します。就労先は決まりましたが、これからも目指していく「新たなステージ」への通過点だと思います。いくつになっても学ぶべきことはたくさんあって、これからも新しい発見もたくさんあると思います。経験を学びの場と心得え、初心を忘れず、楽しんでいきたいと思っています。

○ジョブスタを利用した感想、反省点、利用者へのエール等

ジョブスタに出会え、利用させていただき、感謝しかありません。

また、担当制であったことは大変良かったと思います。担当のカウンセラーは、カウンセリング時、最初に私の表情から、どのような気持ちで来所したのかをくみ取っていただき、優しい一言をくださったことは驚きでした。おかげで安心して気持ちを伝えることができました。いろいろ迷ったり、悩んだときもありましたが、何度も勇気をいただきました。

また、併設しているハローワークの相談員の方にも親切に対応いただきました。カウンセラーとハロー

ワーク相談員の連携が取れていて大変心強かったです。双方のご尽力があったからこそ、と感謝しています。

反省点としては、準備不足のまま相談に伺ったことでしょうか。その点に関しても、カウンセラーにご指摘いただき、改善させていただきました。

先日、あるコメンテーターが、自分にとって困難な環境を異常な状況としてとらえるのではなく、それにどのように対応したら良いのかを考えることが必要なのではないかと話していました。世の中も日々変化しており、就活においてもいろいろ困難なことがあると思いますが、前例を踏襲するだけでなく、変化に対応し、困難を乗り越えていただければと思います。直ぐには結果に結びつかないかもしれませんが、一歩ずつ進んでいると感じられると思います。

一人でも多くの方が、ジョブスタを利用することで前向きになり、就職されることを心から願っています。

事例 11 一人で悩まず相談してみたら…

事務職 女性 61歳

私が見つけた働き方

○来所時の状況

卒業後、製造業の事務職として働き続け、定年を迎えました。そこでやり遂げた感があったので、他の業界も視野に、就職活動を始めようと思いましたが、どのように求職活動をしたらよいのか全く分からず、不安でした。

そこで、予約なくジョブスタを訪問したのですが、たまたま、予約時間の空いていたカウンセラーがいらっしゃったので、当日、相談することができました。

○成功の転機となったこと

カウンセリングでこれまでの業務経験を見直すことによって、自分の強みを認識することができたので、前向きに求職活動に取り組むことができました。

○現状と今後、反省点

初回来所から2週間で内定をいただいたので、労働条件の詳細を就職先と打ち合わせ、雇用契約を結ぶ予定です。

○ジョブスタを利用した感想、反省点、利用者へのエール等

私には個別相談があっていたようで、アドバイスをいただきながら求職活動をし、履歴書・職務経歴書のチェックをしていただき、面接時の注意点まで教えていただき、とても助かりました。

一人で悩まず、相談することで、次のステップへ進むことができましたと思います。本当にありがとうございました。

私が見つけた働き方**○来所時の状況**

私は新卒で入社した電機メーカーのグループ会社に 38 年間事務職（ゼネラリスト）として勤務し、60 歳の定年後、1 年間、シニア社員として継続勤務したのち、親の介護のために離職しました。

親の介護が一段落した 1 年後、社会との接点を持ちたいと考え、就職活動を開始しました。

効率よく就職活動をしたいと考え、インターネットで情報収集をしていたところ「シニア・ジョブスタイル・かながわ」の存在を知り、相談に伺いました。

○成功の転機となったこと

当初、私は、これまでの経験をもってすればすぐに就職できると考えていましたが、結果的に採用されたのは 1 年後で、通算 30 社以上応募したことになります。

私はこれまで、民間企業で利潤追求を至上とする環境に身を置いて仕事をしてきましたが、これからは公共の仕事を担ってみたいと思い、「公務」を探していました。もう、十分働いてきたという思いから、週 3 日程度で補助的な仕事に絞り、応募していました。

しかし、実際に応募してみると、私のスペックと、相手が要求しているスペックが大きく乖離していることで採用とはならず、採用面接では「スキルがありすぎる」と言われたこともありました。「経験、知識、資格がかえって不利となる」ということを実感させられました。

そこで、応募先の条件を変更し、勤務日数を週 4 日に増やすとともに、自分が有する資格を生かせる職場を探し、ハローワークの窓口でなるべく応募者数の少ない求人を確認して応募することにした結果、採用につなげることができました。

○現状と今後

採用成否は、その時の需給バランスやタイミングで決まるので、数多く応募することが大切との指導をいただきましたが、まさにこのことを今実感しています。

○ジョブスタを利用した感想、反省点、利用者へのエール等

担当カウンセラーの方には通算 13 回面談し、ご指導いただきました。40 年前の学生時以来の就職活動でしたので不安がありましたが、的確なサポートを受けることができ、大変感謝しています。

就職活動で迷ったときにカウンセリングを受けていましたが、電話で活動状況の確認をしていただいたこともあり、親身に対応いただいているという思いをいただきました。

担当のカウンセラーの方、ハローワークの窓口の方、そして受付の方々、大変お世話になりました。

事例 13 未経験の業種にチャレンジ

学校用務員サポート職 女性 65歳

私が見つけた働き方

○来所時の状況

雇用期間満了に伴い、老人ホームのフロント業務を 65 歳で退職しました。まだまだ社会貢献をしたい気持ちで職を探しましたが苦戦が続きました。

シニア・ジョブスタイル・かながわは、前職を見つけるにあたりお世話になったこともあり、再びアドバイスをいただこうと訪問しました。

○成功の転機となったこと

カウンセリングでは、職の見つけ方、履歴書の書き方、面接のコツなどを伺い、何社も応募しましたが、年齢の壁は厚いようで、不採用が続きました。

焦り、悶々とした日々が続きましたが、カウンセラーの方は、世間話を織り交ぜて「大丈夫、必ず職は見つかります」と励ましてくださり、毎回、相談を終えると、勇気が湧いてきました。

そのような中、学校用務員のサポート職が目にとまりました。これまで経験したことのない職種でしたが応募したところ運よく採用となりました。

自分に自信をもって諦めず、笑顔を忘れずに求職活動をすれば、必ず道は開けると実感しています。

○現状と今後

用務員のサポートという仕事は、用務員が有給休暇やその他、突然休んだ際に、その代務を行います。通常は営業所で雑務を行っています。

用務員の仕事は、清掃が主な業務なのですが、受け持つ場によってさまざま、覚えるのに時間はかかりましたが、仲間も同年齢の方が多く、協力して作業を行っています。

何より、女学校の小・中・高の生徒さんから「いつもありがとうございます」と声をかけていただき、それが励みとなり、癒されます。健康に留意して長く勤めていければと思っています。

○ジョブスタを利用しての感想、反省点、利用者へのエール等

キャリアカウンセリング、ハローワークコーナー、受付と、スタッフの皆さまにはいつも温かく接していただき、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

事例 14 新たな仕事への挑戦

障がい教育推進支援員 女性 65 歳

私が見つけた働き方

○来所時の状況

一つの会社で働き続け、再雇用制度も利用し、65 歳となりました。年金の額を見て驚愕。再雇用終了後もまだまだ働かなくては、と思いましたが、これまで就職活動の経験はなく、途方に暮れていたところ、ジョブスタの存在を聞いて、利用してみることにしました。

○成功の転機となったこと

まずは、どのような仕事があるのかを把握するため、ハローワークインターネットサービスで検索してみました。これまでフルタイムでしたが、これからは少し勤務時間を減らしたいと思っていました。どのようにしたらそのような仕事が検索できるのかや、職種を絞り込む方法を教えていただいたことが大変役立ちました。

特に職種は限定せず漠然と探していたところ、これまでの仕事とは異なった、でも、ちょっと挑戦してみようかなと思われる仕事が目に入りました。

早速、応募しようと、まずは紹介状を発行してもらいました。私はフルタイムで働いていたので、ハローワークプラザよこはまが 19 時まで利用できたことは大変助かりました。

面接の日程が決まり、業務内容等についていろいろ調べたのですが情報が少なく、知人に求人票を見せたところ、「障がいのある方の教育は、高度の専門性が必要なのに、あなたにそのサポートができるのか、よく考えた方がいいよ」とまでいわれましたが、時すでに遅し。

どうしたものかと迷いましたが、紹介状も出してもらっていたため、とりあえずは面接に向かうことにしました。

面接に向かう途中、担当のカウンセラーの方が「そのままの自分を見てもらえばいいんだよ。そうしたら、面接官が、あなたがその仕事ができるかどうかを判断してくれるから」とおっしゃったことを思い出しました。

そこで、面接の場面では、業務内容を調べたけれども結局よくわからなかったこと、知人から本当にできるのかと言われたこと、だけど、これまで自分が経験してきたことが少しでも役に立つのであれば仕事をしてみたいという自分の気持ちを率直に伝えました。

面接官の方からは業務内容について色々教えていただき、それに関する質問もありましたが、それに対し、「自分だったらこうしたいと思います」とこれまでの経験をもとに答えました。

自分としてできる限りのことはできたと思っていたところ、その日のうちに連絡があり、内定をいただくことができました。

○現状と今後

この歳でこれまでに経験したことのない業務を経験することになりました。不安でいっぱいですが、少しでも期待に応えることができるよう頑張りたいと思います。

○ジョブスタを利用した感想、反省点、利用者へのエール等

巷では、応募書類の形式や、面接での模範的な答え方などが色々でています。もちろん、それは大事な

こととは思いますが。でも、それ以上に、相手に対し、真摯に対応することがなにより重要であると思いをしました。そのことに気づかせてくださったカウンセラーの方に感謝します。

事例 15 定年からの再チャレンジ

介護職 男性 66 歳

私が見つけた働き方

○来所時の状況

製造工場の管理業務に携わっていましたが、65 歳 6 か月で定年退職となりました。その後も働きたいと考えていましたが、仕事があるのか不安があったため、シニア・ジョブスタイル・かながわで相談してみることにしました。

○成功の転機となったこと

カウンセリングでは、担当のカウンセラーから、まだまだ働ける仕事はあるので、自信をもって行動するようにアドバイスをいただきました。

また、資格を取るということも視野にいれ職業訓練という手もあるということをお教えいただき、特に、福祉系ならばさらに可能性が高いので、介護職員養成コースで初任者研修の受講なども考えてみたらどうかと勧められ、異業種への転職に向かう自信のない私の背中を押していただきました。

ハローワークでの説明会に出席、面接に臨んだところ合格となり、3 か月間受講。同じ志をもつ仲間も増え、初任者研修の資格を取りました。

○現状と今後

現在は、都合のつく時間帯で介護職として働き、新しい職場の中で新人として日々努力しております。

○ジョブスタを利用しての感想、反省点、利用者へのエール等

担当カウンセラーの方には、定年退職後の不安の中、「働く所はあるから心配しないで」というお言葉をいただき、また、介護職員養成コースで初任者研修を受講し新しいチャレンジをしてみることをご提言していただき誠にありがとうございました。

私が見つけた働き方

○来所時の状況

今までは販売の仕事に携わってきましたが、別の職業に就きたいと考え、就職活動を開始しました。どのように活動したらよいか悩んでいたところ、ジョブスタの存在を知って、利用することにしました。

○成功の転機となったこと

カウンセラーと話していくうちに、様々な仕事がある中で、自分のやりたいことがだんだん見えてきました。

料理の配膳などにも興味があり、やってみたいと思っていることをカウンセラーに伝えたところ、これまでとはジャンルは異なるが、接客業で身に着けた気配りを生かせるし、こうした仕事も向いているのではないかとおっしゃっていただき、早速、応募したところ、採用となりました。

カウンセリングで、自分の強み、やってみたいことに気づくことができたことが成功の転機となりました。

○現状と今後

今はまだ、仕事でホールの席番号がすぐに出でこないと苦勞することもあります。向上心を持ち、会社に貢献していきたいと思っています。

○ジョブスタを利用した感想、反省点、利用者へのエール等

年齢が年齢なので、果たして自分に向いている仕事があるのかとても不安でしたが、カウンセラーの方が親切丁寧に話を聞いてくださり、仕事探しを手伝って下さいました。ジョブスタを利用して本当に良かったと思います。

就職活動で困ったら、自分一人で悩むことなく、カウンセラーに相談してほしいと思います。

